

# この本よんだ？

夏だ！夏だ！ 特集号 Vol. 2

## 魔法使いのチョコレート・ケーキ

マーガレット・マーヒー/作 石井桃子/訳

シャーリー・ヒューズ/絵 福音館書店 933.7マ

魔法の腕はわるいけれど、すばらしいチョコレート・ケーキをつくる魔法使いがいました。ある日、魔法使いは町じゅうの子どもたちをお茶に招待しました。ところが、わるい魔法使いだと思っている子どもたちはだれもやってきませんでした。



## 招福堂のまねきねこ またたびトラベル物語

茂市久美子/作 黒井健/絵

学研教育出版 913.6毛

住宅街の奥にある、ちいさな旅行会社「またたびトラベル」。そこで案内される旅行は、ちょっと不思議なものばかりです。

## 紳士とオバケ氏

たかどのほうこ/作 飯野和好/絵

フレーベル館 913.6夕



毎日同じ時間に寝て、同じ時間に起きる、とってもまじめなマジヒコ氏。けれどもある日、まちがって真夜中に起きてしまいました。するとそこには、マジヒコ氏にそっくりなオバケが…。

## ポリーとはらぺこオオカミ

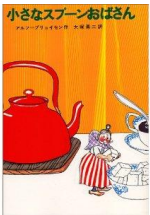
キャサリン・ストー/作 掛川恭子/訳

岩波書店 933.7ス

## 小さなスプーンおばさん

アルフ・プリヨイセン/作 大塚勇三/訳

ビョールン・ベルイ/絵 学研教育出版 949.63フ



あるおばさんが、あさ目をさますと、ティースプーンくらいに小さくなっていました。スプーンおばさんは、頭をつかってうちの中のしごとをかたづけます。

## ゼロひきのゴーシュ

宮沢賢治/作 茂田井武/画

福音館書店 D913.6ミ

## ドリトル先生アフリカゆき



ヒュー・ロフティング/作・絵

井伏鱒二/訳 岩波書店

933.7ロ

ドリトル先生は、動物の言葉がわかるお医者さんです。アフリカのサルたちにおそろしい疫病がはやっていることを知ったドリトル先生は、オウムのポリネシアやサルのチーチーといっしょにアフリカへ行くことにしました。

## ふたりのロツテ

エーリヒ・ケストナー/作 高橋健二/訳

W.トリヤー/絵 岩波書店 943.7ケ

ロツテは、林間学校で自分にそっくりな女の子ルイーゼと出会います。ふたりは、わかれた両親にべつべつに引き取られたふたごでした。ふたりは両親をなかなかおりさせるため、誰にもないしょで入れかわってしまうことになりました。

## 火曜日のごちそうはヒキガエル

ラッセル・E・エリクソン/作 佐藤涼子/訳

ローレンス・ディ・フィオリ/絵 評論社 933.7エ

ウォートンとモートンはヒキガエルの兄弟。ある日、ウォートンがおばあさんのうちに向かっていたとき、ミミズクにさらわれてしまいました。ミミズクは、自分のたんじょう日にウォートンを食べてしまうというのです。



## ウェズレーの国

ポール・フライシュマン/作 千葉茂樹/訳

ケビン・ホークス/絵 あすなる書房

E903.6マ

## ちびっこカムのぼうけん

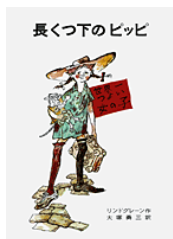
神沢利子/作 山田三郎/絵 理論社 913.6カ

北の国に、カムという男の子が住んでいました。チムは、かあさんのびょうきをなおすために、火の山にあるイノチノクサをとりに行くことにしました。火の山には、大男のガムリイがいて、だれでもつかまえては、とおい海まではじきとばすといいます。

## 長くつしたのピッピ

アストリッド・リンドグリーン/作 大塚勇三/訳

桜井誠/絵 岩波書店 949.83リ



ピッピは、世界一強い女の子。サルのニルソン氏と馬といっしょにくらしています。馬に乗って学校へ行ったり、どろぼうをやっつけたり、ピッピのまわりは楽しいことばかりおこります。

## のどか森の動物会議

ポイ・ロルンゼン/文 山口四郎/訳

カールハイツ・グロース/絵 童話館出版 943.7グ

## フングリコングリ 図工室のおはなし会

岡田淳/文・絵 偕成社 913.6オ

## くまのパティントン

マイケル・ボンド/作 松岡享子/訳

ペギー・フォートナム/絵 福音館書店 933.7ボ

ブラウン夫妻は、ペルーからやってきたクマを家族に迎え入れることにしました。パティントンと名づけられたクマは、お風呂でおぼれかけたり、エスカレーターを止めたり、次から次へと騒動をおこして…。



## しずくの首飾り

ジョン・エイキン/作 猪熊葉子/訳

ヤン・ピアンコフスキー/絵 岩波書店 933.7エ

## 火のくつと風のサンダル

ウルズラ=ウェルフェル/作 関楠生/訳

久米宏一/絵 童話館出版 943.7ウ

くつ屋のチムは、デブでチビでびんぼうと、友だちみんなからバカにされます。チムのたんじょう日、お父さんはチムに「火のくつ」という新しい名前とすてきな冒険の旅をプレゼントしてくれました。



## 世界でいちばんやかましい音

ベンジャミン・エルキン/作 松岡享子/訳

太田大八/絵 こぐま社 E903.6オ



やかましいことが大好きなギャオギャオ王子。たんじょう日に、世界で一番やかましい音が聞いてみたいと思いました。